

長崎市イノベーション創発 コミュニティ育成業務

令和6年度と令和7年度の事業比較について

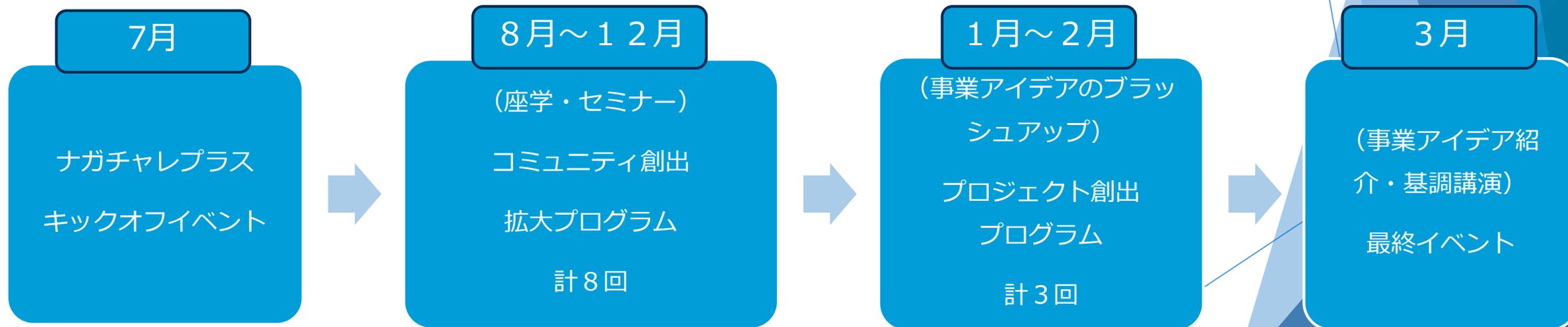
新産業推進課
令和7年4月8日

令和6年度の事業概要

目的

地場企業を核とした新規事業創出を目指すコミュニティの創出・拡大を図り、プロジェクトが生まれる環境を構築すること

取組内容



令和6年度の事業概要

成果 6つの事業アイデアが誕生

事業アイデア	概要
PEACEDAOプロジェクト	平和活動家たちの持続可能な活動支援に向け、DAOを活用し、長崎から「平和（Peace）」を世界に向け発信するもの。
DAOを活用した伊王島プラットフォームの構築	地元事業者や観光客にとって様々な課題を解決するため、DAOを活用した伊王島プラットフォームを構築するもの。
マイクラフトで再現した高島の観光コンテンツ販売	「マイクラフト」というゲーム内で高島を再現し、観光コンテンツとして販売することで、高島の魅力を発信するもの。
オーバーツーリズム等の解消に向けた検討	観光客が移動する際にどこにいても荷物を預けれる「周遊ロッカー」の検討を行うもの。
2024年問題解決に向けたシステムの検討	2024年問題解決に向け、荷物を運んでほしい「荷主」と荷物を運びたい「物流会社」に対し、「求荷求車のマッチングシステムの構築」を検討していくもの。
新ブランド魚の検討	赤潮発生リスクの低い冬から春先に養殖可能な新規魚種の導入を検討していた地場企業（昌陽水産）と高温耐性サーモンの開発に取り組む宮崎大学発ベンチャーの株式会社Smoltのマッチングがナガチャレプラスを通じて実現し、実証実験に向けて取り組むもの。

令和6年度の事業概要

課題

ナガチャレプラス参加者アンケート結果

ポジティブな意見が多数

- ・「新規事業を考える良いきっかけになった」
- ・「新しい繋がりや事業が生まれる良い機会だった」

市内企業向けアンケート結果（約7,000社のうち約600社が回答）※別途長崎市が実施

⚠ 課題が浮き彫りに

- ・イベントの認知度が低い → 9割以上が「知らない」と回答
- ・新規事業創出の必要性は認識しているものの課題あり
 - ・新規事業について進め方がわからない、それを担う人材がない
 - ・新規事業の進め方に関するセミナー、情報提供の不足

求められる支援

- ・地場企業の巻き込み強化
- ・協働企業、人材とのマッチング支援
- ・セミナー、情報提供のさらなる充実

令和7年度の事業概要

方針

アンケート調査を行った企業へヒアリングを実施

- ・新規事業について興味はあるが、進め方がわからない
- ・新規事業のアイデアの考え方がわからない
- ・異業種が集まるようなイベントがほしい



多くの企業でアイデアの創出に関する課題を抱えており、新規事業に着手することができない。

そこで、令和7年度は、**アイデア創出のプロセスを学ぶことに重視する。**

新規事業では初期のアイデアの段階で十分な検討がなされず進行し失敗することが要因の一つ。アイデア創出の段階から幅広い可能性を探り、創造性ある発想を生み出すことがカギとなる。

令和7年度の事業概要

目的

地場企業を核とした新規事業創出を目指すコミュニティの創出・拡大を図り、アイデア創出のプロセスを学ぶこと

令和6年度と比較

	令和7年度	令和6年度
目的	地場企業を核とした新規事業創出を目指すコミュニティの創出・拡大を図り、 アイデア創出のプロセスを学ぶこと	地場企業を核とした新規事業創出を目指すコミュニティの創出・拡大を図り、 プロジェクトが生まれる環境を構築すること
対象者	新規事業の必要性を感じながらも具体的な取組みに課題を抱える地場企業者など	長崎市内の地場企業者、県内外の事業者、Uターンや学生など

令和7年度の事業概要

期待される効果

地場企業の新規事業創出力の向上

アイデア創出の具体的な方法を学ぶことで、**企業自身が新規事業を芽生えさせる力を強化**

事業アイデアの具体化

ゼロからの発想だけでなく、実践的な手法を学ぶことで、**実現可能なアイデアとして形にしやすい**くなる

企業間の連携強化・オープンイノベーション促進

他の企業と交流することで、**気付きが生まれ、新たなビジネスが誕生する可能性が高まる**

企業内マインドセットの変容

社員がアイデア創出の手法を学ぶことで、**社内の新規事業創出のカルチャーの醸成**や、経営者の意識改革や既存事業の改善にも活用可能

地場企業の成長・地域経済の活性化

新しい事業が生まれることで、企業の競争力が向上し、**地域経済全体の活性化につながる**